

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	快適でやすらぎのある生活環境づくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	まちの安全・安心	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>当町は平成18年3月の3町合併により、新町・与謝野町となった。しかしながら、都市計画、公園・緑地の整備、道路・公共交通網の整備や情報通信基盤整備、上下水道の整備や防犯・安全といった、住民の生活基盤に大きく関わる分野で、旧3町とも整備状況が異なり、一つの町として調和のとれた均衡あるまちづくりを目指すことが課題となっている。</p> <p>また、平成27年度国政調査の人口は21,834人と前回調査より1,620人の減少となっており、今後の人口減少が懸念される中、産業振興と合わせて生活環境整備による定住促進も必要となっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民の定住を支える「快適で安らぎのある生活環境づくり」を目指して、本町の特性を活かした都市計画の推進、潤いのある暮らしの環境整備、交通ネットワークや情報基盤、上下水道等の整備、安心・安全な地域づくりに取り組む。</p>							
	総事業費（千円）	435,265	本年度事業費（千円）	25,347	交付金額（千円）	5,084		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	地域情報通信基盤整備事業	交付対象事業	光ファイバー網の整備と利活用。			新規開通工事56件、Dユニット追加工事48件。		
	阿蘇霊照苑整備事業	交付対象事業	火葬施設の整備。			火葬炉工事。		
	都市公園整備事業	交付対象事業	男山八幡公園施設整備			男山八幡公園バックネット修繕。		
	加悦奥グラウンドゴルフ駐車場整備事業	交付対象事業	加悦奥グラウンドゴルフ駐車場整備事業			加悦奥グラウンドゴルフ駐車場整備。		
	地域交通対策事業	交付対象事業	与謝野駅の整備			与謝野駅舎空調整備。		
住民協働事業	塵芥処理事業	交付対象事業	生ごみ処理機の整備			生ごみ処理機の整備に係る助成29件		
	浄化槽設置整備事業	交付対象事業	浄化槽維持管理			浄化槽維持管理補助金66件		
	高齢者免許証自主返納事業	交付対象事業	高齢者免許証自主返納事業			高齢者免許証自主返納事業 40件		
	移住定住支援事業	関連事業	空き家再生リノベーション実践塾、与謝野インレジデンスの実施。			空き家再生リノベーション実践塾101人、与謝野インレジデンス5人。		
	コミュニティバス運行事業	関連事業	交通の不便な地域での町営バスの運行事業。			利用者数5,373人。		
住民が取り組む事業	子ども見守り隊事業	関連事業	地域住民が小学校単位で下校時の見守り活動を行う。			全小学校で実施。		
成果指標①	成果指標の目標数値	サイクリングロードの防犯灯設置距離の延長 (H23: 1.6km⇒H29: 4.3km)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	平成28年度3.7km			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	H28年度と同じペースでいけば達成可能のため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	-			(時期)	-	
成果指標②	成果指標の目標数値	水洗化率の向上 (H23: 64.0%⇒H29: 75.0%)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	平成28年度74.1%			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	H28年度と同じペースでいけば達成可能のため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	-			(時期)	-	
成果指標③	成果指標の目標数値	一人当たりのごみの減少 (H23: 923g/人・日⇒H29: 871g/人・日)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	平成28年度911g/人・日			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	ごみ減量強化の年として、リサイクルの普及に力を入れていた。リサイクルごみもごみ量としてカウントされるため、減少したようには見えてこない。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	-			(時期)	-	
成果指標④	成果指標の目標数値	阿蘇海の水質向上 (COD値: 科学的酸素要求量) (H23: COD値4.2mg/L⇒H29: 3.0mg/L)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	H28: 4.3mg/L			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	昨年度数値から悪化しているため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	-			(時期)	-	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：与謝野町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>交通事故の件数については、各種予防・啓発活動に取り組んだ結果、前年度より件数が減少している。0件に近づけるよう引き続き活動を続ける。 防犯灯の設置、見守り活動の実施により、犯罪は昨年度より大幅に減少した。 全体的には、短期的な結果は出なかったが、積み重ねることによって改善を努めていく。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>町の行う環境整備事業だけでなく、関連事業で住民生活にさらに踏み込んだ取組を事業者や住民と協働で行うことができ、快適な地域社会の実現に成果を得られた。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>安心・安全な生活環境整備が、すべての人にとっての快適な生活環境の整備に繋がるので、特に住民が地域において必要であるとする環境整備について、住民の意見や要望を聞き成果をあげることができた。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>平成24年度で終了した住宅改修補助事業は他の自治体でも実施例は少なく、住民の生活環境の向上に直接影響を与える実効性の高い事業であった。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>合併後にまちまちであった生活環境の整備状況について住民の意見や要望を聞きながら、均衡ある発展を目指し整備を進めている。特に、地域情報通信基盤の整備については未整備地区との格差をなくし、その利便性・有用性を広域的に波及させることができた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>公共施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。</p>
	<p>その他の成果</p>	